

学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ

真剣味



中京大学

広報 183号

2015年4月16日発行

主な内容

- ②-③ 卒業式
- ④ トビタテ！留学JAPAN／図書館の貴重書「伏見常盤」
- ⑤ 伊・バーリ大学招き経済研究所特別セミナー
- ⑥-⑦ 入学式
- ⑧-⑨ 新副学長・学部長・研究科長・研究所長の抱負
- ⑩-⑪ 小川名誉理事長が豊田市政功労章／同窓会日程
- ⑫ 愛知県と体育・スポーツ振興に関する包括協定
- ⑬ 22年ぶりに入学志願者33,000人超
- ⑭-⑮ 7つの研究力「企業研究所」
- ⑯-⑰ 学生の学習成果



「Campus Shot」 名古屋キャンパス西門

1954年の中京短期大学開学と同時に正門として設置された。
以来51年間、門の両側から咲く桜のアーチとともに新入生を温かく迎え続けている。
1959年に本館(11号館)が完成してからは西門と名称を変え、現在に至る。

発行 中京大学 広報部

〒466-8666名古屋市昭和区八事本町101-2
TEL.052-835-7111(代)

卒業生代表 謝辞 (大要)



現代社会学部
あおき ようへい
青木 耀平
(岐阜・斐太高校)

中京大学教育後援会から奨励金をいただき、カンボジアへの教育ボランティアに参加しました。現地でホームステイをしながら生活をする中で、新しい仲間と異国情緒あふれる文化に触れ、視野が大きく広がりました。

物事の本質や意味をつかみ本当の学問の魅力を感じることができたのは、現代社会学部が力を入れているフィールドワークのおかげです。3年次に「社会調査実習」を履修し、学生の約500人を対象にアンケート調査を行いました。調査対象に対し、仮説を立て自ら実証するには、情報処理能力が求められます。さらに、最も重要なことは仲間との協力であり、学ぶ喜びに結びつきました。

第一希望大学の受験に失敗した私は、大学での4年間で学びに打ち込む再チャレンジの機会にすると意気込んでいました。大学図書館の閉館まで勉強することを目標にして、学部首席として卒業を迎えることができました。先生方の真摯なアドバイスのおかげです。心より感謝を申し上げます。

心理学部
いとう もとひろ
伊藤 資浩
(愛知・中京大中京高校)

2年次に受講した「心理学実験演習」が私の人生を大きく変えました。学生自らが実際に実験者や被験者となって、心理学研究で使用される手法や技法を学ぶ講義です。統計分析を行い、実験の目的や方法、結果、考察を提出するため、1年間レポート尽くめで毎週徹夜しました。臨床的なことだけではなく、実験的手法を用いることによって人間の心や思考を理解することができることを知り、心理学を学ぶ楽しさに触れることができました。

ゼミに所属してからは、1限時から終電まで研究室のメンバーや指導教授とともに実験に明け暮れ、卒業後就職する道だけではないことに気付かされました。中京大学大学院に進学が決まり、身の引き締まる思いです。

精神的にも経済的にも支え続けてくれた家族、励まし合い、切磋琢磨した学友を一生忘れません。道に迷ったり、壁が行く手を遮ったりしたとき、中京大学で得た経験や知識、また友達や教職員方の思いが、自分の目指す素晴らしい道へと導いてくれると信じています。



東海南 杉浦遥(愛知・至学館) 宮平有理(沖縄・向陽) 丹羽絢音(愛知・中京大中京) 澤田拓哉(愛知・名東) 熊谷いくみ(鳥取・米子南) ◆**スポーツ科[スポーツ教育]** 坂倉均(愛知・瑞陵) [**競技スポーツ科**] 佐野円香(愛知・愛知淑徳) 北島寛也(愛知・玉野光南) 大島若奈(愛知・豊田) 杉山凌(静岡・静岡) 野中愛子(京都・鳥羽)

創業者賞

◆**大学祭実行委員会** ▶**名古屋委員長** 山後直将(文・愛知・名古屋西) ▶**豊田委員長** 中村亮太(情報理工・愛知・名古屋西) ◆**体育会** ▶**幹事長** 洞庭誠治(現代社会・石川・金沢) ◆**文化会** ▶**幹事長** 舟橋大裕(心理・愛知・中京大中京) ◆**体育会** ▶**アメリカンフットボール部** 吉見大輝(スポーツ科・愛知・岡崎西) 若森雅生(スポーツ科・滋賀・虎姫) 足立雅洋(情報理工・岐阜・加納) 谷村夢馬(スポーツ科・滋賀・北大津) 比留間正純(現代社会・愛知・東邦) 福森雄大(現代社会・三重・津西) 米田成利(スポーツ・愛知・尾北) ▶**アルティメット部女子** 小川明日香(スポーツ科・愛知・春日井) 小島奈月(スポーツ科・愛知・中京大中京) 杉本沙佑美(スポーツ科・愛知・福山女学園) 大塚愛華(スポーツ科・静岡・榛原) ▶**サッカー部** 清水貴文(スポーツ科・群馬・磐田東) 南部健造(スポーツ科・東京・ウィザス) 牧野修造(スポーツ・神奈川・川崎北) ▶**自転車競技部** 阿曾圭佑(スポーツ科・三重・暁) ▶**水泳部** 伊澤賢司(スポーツ科・長野・上伊那農業) 金谷優気(スポーツ科・三重・四日市西) 後藤涼佑(スポーツ科・愛知・中京大中京) 清野尚哉(スポーツ科・宮城・東北) 大川孝明(スポーツ科・茨城・鹿島学園) 田中ひとみ(スポーツ科・静岡・飛龍) 有間健(スポーツ科・愛媛・豊川) ▶**スキー競技部** 岩本懂子(スポーツ科・長野・白馬) 白川裕則(スポーツ科・愛知・中京大中京) ▶**スケート部** 河野有香(スポーツ科・広島・倉敷翠松) 江口涼一(現代社会・愛知・愛知みずほ大瑞穂) 浅田真央(体育・愛知・中京大中京) 木原龍一(スポーツ科・愛知・中京大中京) ▶**ソフトテニス部男子** 池田大樹(スポーツ科・福井・三重) 越智

敏晃(スポーツ科・愛媛・高田商業) 松本正彦(スポーツ科・島根・尽誠学園) 臼井勇介(現代社会・岐阜・岐阜商業(県立)) ▶**ソフトテニス部女子** 河合裕美(スポーツ科・岐阜・多治見西) 佐野円香(スポーツ科・愛知・愛知淑徳) 大相朝加(スポーツ科・愛知・三重) 北島亜耶里(現代社会・岐阜・多治見西) ▶**ソフトボール部男子** 伊藤元晴(スポーツ科・愛知・桜台) 伊藤太慈(スポーツ科・愛知・大府) 笹岡徳公(スポーツ科・愛媛・宇和島南) 山口恭平(スポーツ科・愛知・旭野) 松倉慎之介(スポーツ科・愛知・名古屋南) 上

合政策・愛知・光ヶ丘女子) 倉地愛里(スポーツ科・愛知・西尾) 中島翼(スポーツ科・愛知・岡崎北) 本田浩幸(スポーツ科・愛知・江南) 見田瑞季(スポーツ科・愛知・富田) ▶**バレーボール部女子** 石橋遊美(スポーツ科・愛知・豊橋中央) 中原瑠香(スポーツ科・滋賀・夙川学院) 宮元あみ(スポーツ科・愛知・三好) ▶**ハンドボール部男子** 安藤広倫(スポーツ科・愛知・桜台) 牛丸敦貴(スポーツ科・愛知・星城) 関谷菜穂(スポーツ科・愛知・中京大中京) 田内良昇(スポーツ科・愛知・春日丘) 田村卓大(スポーツ科・山口・岩国工業) 舟橋憲吾(スポーツ科・愛知・津島東) 宮崎沙也加(スポーツ科・香川・高瀬) 宮元辰朗(スポーツ科・滋賀・近江兄弟社) 山田陽平(スポーツ科・愛知・千種) ▶**ハンドボール部女子** 新井範子(スポーツ科・愛知・名経大市邨) 川下真由(スポーツ科・京都・洛北) 近藤茜(スポーツ科・愛知・名経大市邨) 田邊千佳(スポーツ科・石川・小松市立) 長谷川かおり(スポーツ科・大阪・城南学園) 濱崎紗世(スポーツ科・石川・小松市立) ▶**フェンシング部** 浦野夏菜(スポーツ科・長野・赤穂) ▶**陸上競技部** 天野涼太(スポーツ科・愛知・岡崎城西) 武藤光志(スポーツ科・岐阜・岐阜商業(市立)) 山中里花子(スポーツ科・静岡・浜松湖南) 齊藤希望花(スポーツ科・滋賀・高島) 中田恵莉子(スポーツ科・岡山・生光学園) 中尾優里(スポーツ科・和歌山・和歌山北) 田村朋也(スポーツ科・愛知・名古屋大谷) 北島寛也(スポーツ科・愛知・玉野光南) ◆**文化会** ▶**書道部** 片岡侑也(法・愛知・春日井東) 高村藍(心理・愛知・知立東) 堀匡治(経営・岐阜・羽島北) 池田彩菜(文・愛知・桜台) 榊原健介(経済・愛知・東海南) 衣斐千夏(経済・岐阜・大垣南)



理事長特別賞を受ける浅田真央さん

村奨(スポーツ科・愛知・豊明) 中田智士(スポーツ科・愛知・豊明) 平岩裕基(スポーツ科・愛知・豊田南) 平野友也(現代社会・静岡・常葉学園菊川) ▶**ソフトボール部女子** 下山実咲(スポーツ科・愛知・東海商業) 下園美早紀(スポーツ科・愛知・至学館) 三輪美晴(スポーツ科・岐阜・岐阜女子) 杉山舞(スポーツ科・愛知・東海商業) 相良佳奈(スポーツ科・愛知・名大教育学部附属) 大野志織(スポーツ科・岐阜・多治見西) 塚本智名(スポーツ科・滋賀・水口) ▶**体操競技部** 前田紗里(スポーツ科・兵庫・尼崎(市立)) 前田早知子(スポーツ科・愛知・名経大市邨) ▶**ダンス部** 相原頌子(総

◆**文化会** ▶**書道部** 片岡侑也(法・愛知・春日井東) 高村藍(心理・愛知・知立東) 堀匡治(経営・岐阜・羽島北) 池田彩菜(文・愛知・桜台) 榊原健介(経済・愛知・東海南) 衣斐千夏(経済・岐阜・大垣南) **団体賞理事長杯** スケート部 **創業者 梅村清明 体育会杯** 浅田真央(スケート部) **創業者 梅村清明 体育会杯特別賞** 木原龍一(スケート部) **創業者 梅村清明 文化会杯** 囲碁倶楽部 **梅村学園 理事長 特別賞** 浅田真央(スケート部)

学友や恩師との誓い胸に



2014年度 卒業式 2,888人が新たな門出

2014年度の卒業式が3月19日、日本特殊陶業市民会館で行われ、午前と午後の部合わせて学部生2,813人、大学院生75人の計2,888人が学び舎を巣立った。約1,000人の保護者も出席。卒業生らは学友や恩師との記念撮影を楽しんだり、在学中の思い出や4月からの新しい環境について尽きない話をして別れを惜しんだ。

式辞では、北川薫学長が「君たち若者に時代の盛衰、希望や平和の帰趨は託されている」として、「建学の精神を具体的に示した四大綱を基礎として、挑戦と改革の精神で、ますますグローバル化する混沌とした時代を切り開いてほしい」と激励した。

梅村清英理事長は「皆さん、ご卒業、本当におめでとう。学園は2023年に創立100周年を迎える。『愛すべき母校』『誇るべき母校』へ、ひたむきに走り続けていく。これからは同窓生の一人として厚い思いを寄せてほしい」と、祝辞を述べた。

卒業生を代表して、午前の部は心理学部の伊藤資浩さんが、午後の部は現代社会学部の青木耀平さんが謝辞を述べ、社会への新たな一歩を踏み出した。



喜びの各賞受賞者

学長賞

◆文[日本文] 水谷優花(三重・桑名) [言語表現] 土谷恵理(愛知・松蔭) ◆国際英語[国際英語] 桑本健太(愛知・日本放送協会学園) [英米文化] 河合真奈光(愛知・昭和) ◆国際教養 長谷川愛(岐阜・恵那) ◆心理 伊藤資浩(愛知・中京大中京) ◆現代社会 青木耀平(岐阜・斐太) ◆法 望月晴加(静岡・静岡東) ◆総合政策 辻村真里奈(三重・桑名) ◆経済 宮地梨衣(愛知・名大教育学部附属) ◆経営 吉田隆宏(愛知・中京大中京) ◆情報理工[情報システム工] 金柏慎平(山口・岩国) [情報メディア工] 磯部光佑(岐阜・長良) [機械情報工] 佐々木康輔(愛知・瀬戸西) ◆スポーツ科[スポーツ教育] 道脇大斗(愛知・中京大中京) [競技スポーツ科] 近藤さき(愛知・松蔭) [スポーツ健康科] 山口恭平(愛知・旭野)

学部長賞

◆文[日本文] 高橋真弥(岐阜・大垣西) [言語表現] 小

野真希(福岡・日田三隈) ◆国際英語[国際英語] 今井萌(愛知・向陽) [英米文化] 浅倉悠美(静岡・沼津東) ◆国際教養 加藤雅隆(岐阜・岐阜北) ◆心理 早坂美紀(愛知・豊田西) ◆現代社会 諸江音美(石川・金沢錦丘) ◆法 後藤翔一(三重・神戸) ◆総合政策 伊藤美有(岐阜・各務原西) ◆経済 上田光輪子(愛知・藤ノ花女子) ◆経営 伊佐治佳苗(岐阜・土岐商業) ◆情報理工[情報システム工] 林広幸(愛知・刈谷北) [情報メディア工] 根上寛士(愛知・春日井) [機械情報工] 兼松裕一(岐阜・関) ◆スポーツ科[スポーツ教育] 角田和繁(愛知・千種) [競技スポーツ科] 佐藤裕也(愛知・岡崎北) [スポーツ健康科] 米野真由(三重・三重)

同窓会賞

◆文[日本文] 栢原真美(愛知・旭野) [言語表現] 神谷有紗(愛知・阿久比) ◆国際英語[国際英語] 山下明里(岐阜・岐阜北) [英米文化] 鈴木美有(岐阜・多治見西) ◆国際教養 岡部真衣(三重・松阪) ◆心理 岡田真理(愛知・中京大中京) ◆現代社会 北沢歩実(静岡・浜松西) ◆法 西沢美紀(愛知・西春) ◆総合政策 長瀬実希(岐阜・

岐阜北) ◆経済 濱條由莉(三重・伊勢) ◆経営 細井飛聡(愛知・常滑) ◆情報理工[情報システム工] 館亜里紗(三重・川越) [情報メディア工] 竹内義直(愛知・常滑) [機械情報工] 大野広揮(愛知・北) ◆スポーツ科[スポーツ教育] 佐久間綾香(宮城・宮城第一) [競技スポーツ科] 山田瑞輝(愛知・春日井) [スポーツ健康科] 川口拓也(愛知・愛知)

優等賞

◆心理 川田奈於(群馬・高崎女子) 池田葵(愛知・春日井) ◆現代社会 高塚博子(静岡・焼津中央) 内山友梨(愛知・安城) 杉野奈美(三重・桑名) 大平歩(岐阜・大垣北) 橋元美乃莉(三重・川越) ◆法 高橋広(静岡・浜松日体) 張田雄暉(愛知・新川) 山田江里子(愛知・名城大附属) 福澤颯(愛知・愛工大名電) 加納康平(愛知・中京大中京) 小栗崇明(岐阜・岐阜) ◆総合政策 神谷明里(愛知・知立東) 今井淳人(愛知・中京大中京) 北出瑞季(三重・高田) ◆経済 平野真寛(静岡・浜松市立) 鈴木諒佑(愛知・岡崎西) 竹居直樹(愛知・中央) 酒井里奈(愛知・丹羽) 安藤圭亮(岐阜・岐阜北) 田口清貴(愛知・丹羽) ◆経営 浅田遥奈(愛知・

トビタテ！
留学ジャパン

新井翔太さん（体育学研究科）がドイツへ

「日本ハンドボール界の発展により、国民に夢と感動を」

学研究科の新井翔太さんが選ばれた。期間は2015年4月から翌年1月まで。留学費用や活動経費などは同制度の基準により支援される。

新井さんは、日本のハンドボール界が海外に比べ注目度が低いことから、世界最高峰のリーグを持つドイツに留学し、ハンドボールの分析技術と能力開発の方法、体系化された指導者資格制度を学ぶ。帰国後は、①ア

ナリストの育成②指導者資格制度の確立③クラブチーム内の一貫指導や運営アドバイスなど、

講習会等を通して日本ハンドボール界発展の一助になるよう活動していく。2020年の東京オリンピック・パラリンピックを視野に、「多くの国民に夢と感動を与えるスポーツ」に高めていくことを目指している。

「小学生でも安全にできるミニハンドボールの普及、フットサルコートでの活用など、裾野を広げる意味でも、競技場の有効利用の側面でも意義がある」と語る新井さん。ハンドボールの競技人口を増やすための施策も多方面から練っている。



世界で活躍できるグローバル人材の育成を目的に、政府が推進する官民協働海外留学支援制度「トビタテ！留学JAPAN」日本代表プログラム」に、体育

井藤雄一助教(工学部)がメックアワード入選



メディア情報や技術の エラーを空間作品に

映像分野における新しい才能の発掘と制作支援を目的とする埼玉県主催の映像作品コンペティションMECAward(メックアワード)で、工学部メディア

工学科の井藤雄一助教の作品「Don't flatten. part5」が入選した。井藤助教の研究成果である、メディア情報や技術を誤用する表現手法を用いて制作された。

受賞作は、撮影した映像データを再生する際に意図的にエラーを発生させ、表現として使用。現代社会のエラー(間違い)をポジティブに利用して、社会に存在している誤りの本質について問いかけている。物事を平らに見ないで深く考えることを示唆し、少し曲がった壁に投影することによって空間作品として展示された。

図書館の貴重書 14

奈良絵本『伏見常盤』

(貴131)

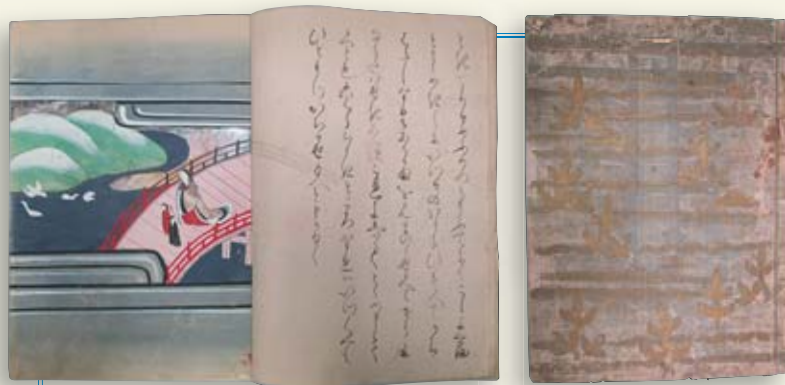
本書は、中世後半に流行した芸能・幸若舞曲の「伏見常盤」の詞章を奈良絵本に仕立てたものである。制作年次は、表表紙見返しに旧蔵者が「寛文頃」(江戸時代前期)と記しているが、

が下るかもしれない。残念ながら題簽が欠損し本文も末尾を失う等痛みが激しいが、大型で趣の深い伝本である。

「伏見常盤」の大凡のストーリーは、平治の乱で敗死した源義朝の側室常盤が、平清盛の追及を逃れるため、牛若(後の源義経)等子ども三人を連れて逃避

行を繰り返す。清水寺等所々を経て雪の中伏見に至った母子は、里の老夫婦の家に宿を乞い、一度は断られるものの受け入れてもらい、半月ほどもてなされる。警戒して身分・素性を明かさぬ常盤を、見舞に来た近所の女房たち五人がそれぞれ出身地の田歌を歌いながら舞って慰める(なおこの歌舞の箇所を本書は失っている)というもの。先行して成立・流布した軍記物語の『平治物語』諸本からはあまり影響を受けず、また悲惨な逃避行を語りながら末尾に祝言性の色濃いところが幸若舞曲らしく、特徴的である。

(文学部教授 徳竹由明)



経済研究所

イタリア・バーリ大学と
合同ワークショップ



2012年度に締結された本学経済研究所とイタリア・バーリ大学との研究交流協定により、これまで本学スタッフが毎年バーリを訪問して研究報告をしてきた。さらに交流を深化・発展させるべく、今年度は経済研究所特別セミナーとして、バーリ大学経済学部からニコラ・コニリーヨ、フランチェスコ・プロタ、ジャンフランコ・ヴィエスティの3氏を招聘し、名古屋キャンパスのヤマテホールを会場に2月24日に1日ワークショップ(W.S)を開催した。

WSは釜田公良・経済研究所長の挨拶に始まり、歓迎する本学経済研究所からも近藤健児、古川雄一、都丸善央の3人が最新の研究成果を紹介した。コニリーヨ氏は途上国に大規模な洪水などを引き起こす環境変化が、生活条件や経済活動の機会変化を通じて、労働者が流出するという仮説の妥当性を実証分析した。プロタ氏はサラ以南のアフリカ諸国のデータを用いて、二国間投資協定が、技術移転や長期的な途上国企業へのサポートなどの後方連関効果に与えるインパクトを実証研究した。ヴィエスティ氏は失業率の急増、自己防衛的な財政緊縮策、EU諸国間における経常収支の不均衡と経済成長率格差の拡大が、ドイツにおいてさえもEUに期待しない世論の拡大につながっていることを示した。

仙台・東京・関西からも多数参加者を集め、活発で建設的な議論が尽きることなく重ねられ、最後にさらなる研究交流を誓約し成功裏にWSは終了した。(経済学部教授 近藤健児)

古川雄一、都丸善央の3人が最新の研究成果を紹介した。コニリーヨ氏は途上国に大規模な洪水などを引き起こす環境変化が、生活条件や経済活動の機会変化を通じて、労働者が流出するという仮説の妥当性を実証分析した。プロタ氏はサラ以南のアフリカ諸国のデータを用いて、二国間投資協定が、技術移転や長期的な途上国企業へのサポートなどの後方連関効果に与えるインパクトを実証研究した。ヴィエスティ氏は失業率の急増、自己防衛的な財政緊縮策、EU諸国間における経常収支の不均衡と経済成長率格差の拡大が、ドイツにおいてさえもEUに期待しない世論の拡大につながっていることを示した。

憲法的刑法学の展開

— 仏教思想を基盤として

平川 宗信

(法学部教授)著

著者は、ライフワークとして、仏教思想とくに親鸞思想に学んだ人間観・国家観に立って現行憲法と刑事法をとらえ直し、その上に刑事法の理論を構築する「仏教的・憲法的刑事法学」を追究してきた。本書は、これに関する既発表の論文に書き下しの論考を加えて一冊にまとめ、著者の研究の軌跡と現在の到達点を示したものである。

有斐閣。2014年12月20日刊。431頁。

本体6,800円+税

自衛隊史論—政・官・軍・民の60年

佐道 明広

(総合政策学部教授)著

1954年に誕生した自衛隊は2014年で60周年を迎えた。軍事に関することを否定的に見る「戦後平和主義」と言われる社会風潮の中で、自衛隊はどのように成長してきたのか、また防衛政策はいかに形成されてきたのかを本書は明らかにしている。自衛隊を政治との関係だけでなく、論壇や世論とのかわりも見据えているところに本書の特長があると言える。

吉川弘文館。2015年1月1日刊。228頁。

本体3,000円+税

「響き合い、高め合う学び」を創る

研究的実践

協同教育実践資料21

杉江 修治

(国際教養学部教授)他監修

本書は、2013年度の犬山中学校の教師集団の実践創造の成果をまとめたものである。協同原理を踏まえ、生き生きとした生徒の学びの姿を支える教師の実践的研究の在り方の事例としても興味深い。

一粒書房。2014年10月20日刊。177頁。

本体3,500円+税

成功しているファミリービジネスは
何をどう変えているのか?

矢部 謙介

(経営学部准教授)他著

本書は、ファミリービジネス(いわゆる同族経営)の経営戦略を考える上で、どのような変革が必要なのかをまとめたものである。多くのファミリービジネスの経営者が、自社の経営において「永続性」を重要視しているが、本当の意味で「永続性」を実現するためには、会社も経営者も変わり続けなくてはならない。自社の変革の方向性を探るオーナー経営者のための実践的な戦略指南書。

同文館出版。2015年1月31日刊。224頁。

本体2,000円+税

吉野裕介准教授(経済学部)が名古屋大学水田賞



歴史研究から描く
次代の自由社会構想

経済学部吉野裕介准教授の研究「フリードリッヒ・ハイエクの自由主義経済思想」が、3月3日、名古屋大学水田賞を受賞した。同賞は、人文・社会科学

(思想史)の分野で40歳以下の若手研究者の研究の発展を支援するため顕彰される。吉野准教授は『ハイエクの経済思想…自由な社会の未来像』

(勤草書房、2014年)のなかで、20世紀の自由主義経済思想家フリードリッヒ・ハイエクの経済思想を、スタンフォード大学フーバー研究所の資料調査をもとに、新しいハイエク像として描いた。同書では、さらにこの解釈を発展させ、「知識の豊かさ」を重視する、次代の自由社会を構想している。



2015年度の中京大学入学式が4月1日、日本特殊陶業市民会館で開かれ、午前と午後の部合わせて学部生3094人と大学院生89人の計3183人が、緊張した面持ちで新生活をスタートさせた。将来を見据えて学習や課外活動などに取り組んでいく。

式典では安村仁志学長が「大学で、自分とは異なる人と出会い、グローバルな生活文化、考え方・意見の違いに触れ、『自己』を形成し、総合的な思考に



2015年度 入学式を挙行 将来見据え3,183人が決意

基づいた『新たな教養』を学修してほしい」と激励。梅村学園の梅村清英理事長も「建学の精神は『学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ』、校訓は『真剣味』。『愛すべき母校』『誇るべき母校』であり続けるよう努めていく。皆さんのご健闘を心より祈念している」と祝辞を述べた。

新入生を代表して、午前の部

❖ 式辞 (大要) ❖

学長 安村仁志

◆ 式辞 (大要) ◆
◆ 学長 安村仁志 ◆
◆ 式辞 (大要) ◆



◆ 式辞 (大要) ◆
◆ 学長 安村仁志 ◆
◆ 式辞 (大要) ◆

「新たな教養」備え、自立を

◆ 式辞 (大要) ◆
◆ 学長 安村仁志 ◆
◆ 式辞 (大要) ◆

◆ 式辞 (大要) ◆
◆ 学長 安村仁志 ◆
◆ 式辞 (大要) ◆



2015年度 中京大学役職者 (4月1日現在)

- 学長 安村 仁志
- 副学長 種田 行男
- 学長補佐(研究担当) 杉島由美子
- (教育担当) 大森 達也
- (学生担当) 桑村 哲生
- (高大連携担当) 花村 和宏
- 文学部長 酒井 敏
- 国際英語学部長 榎木 蘭鉄也
- 国際教養学部長 杉江 修治
- 心理学部長 坂井 誠
- 現代社会学部長 村上 隆



❖ 祝 辞 (大要) ❖

梅村学園理事長 梅村 清英

中央大学の建学の精神は「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」、校訓は「真剣味」です。これらの実践として、四大綱

「ルールを守る。ベストを尽くす。チームワークをつくる。相手に敬意を持つ」があります。

長期計画「NEXT10」の推進で「自ら考え、行動することのできる、しなやかな知識人を育成」していきます。「しなや



トヨタ自動車の豊田章男社長のお話をうかがう機会がありました。そこには、困難や逆境に立ち向かい、信頼、信用される、愛すべき車を世に、という人々の姿がありました。

私は創立者の血筋を継ぐ者で、本学経済学部の一期生です。それゆえ、「愛すべき母校」「誇るべき母校」であるよう願う思いは人一倍

「しなやかな知識人育てる」

か」は「難局にもくじけない、柔軟で強い」のような意味です。ノーベル物理学賞を受賞した赤崎勇先生の言葉が今でも耳に残っています。失敗の積み重ねの上にこそ、成功がある、ということでした。

皆さんにも、本学への入学を機に、新たな一歩を築いてもらえれば幸いです。本日は誠にありがとうございます。ご健闘を心より祈念します。



経済学部 上沼 良太 (愛知・半田高校)

私は経済学部経済学科に所属することになりました。建学の精神を常に胸に刻み、成長していきたいと思っています。現代社会はグローバル化のなか、必要とされる力が変化しています。学部のカリキュラム

には、すべての社会人に求められる汎用的な能力を身につけるための選抜制実践プログラム「エグゼクティブ・プログラム」があります。私は、授業や企業リーダーになるための論理的思考力やコミュニケーション力を身につけ、これからの大学生活で、深い専門性と国際感覚を学び、様々な経験をして、あらゆる環境や変化に立ち向かうことのできる強い人間になりたいと思います。

新入生 宣誓



現代社会学部 佐藤 悠治 (長野・須坂高校)

私は、今年度から4専攻に改組された現代社会学部の、国際文化専攻に所属することになりました。栄えある第一回生として学べることを大変誇りに思い、楽しみにしています。

現代の社会におけるあらゆる問題は、世界規模での広い視野を持って、解決の糸口を導き出すことが不可欠です。その背景には、文化や暮らしが根付き、私たちには想像もできない考え方があります。グローバル社会を前にし、私たちは、他国の文化を理解し、互いを尊重し合える国際人となるべく、知識と教養を身につけ、出会いと関わりを大切にしながら豊かな国際感覚を養っていききたいと思っています。

法学部長
総合政策学部長

経済学部長
経営学部長
工学部長
スポーツ学部長

《大学院研究科》

文学研究科長

国際英語学研究科長

心理学研究科長

社会学研究科長

法学研究科長

経済学研究科長

経営学研究科長

情報科学研究科長

体育学研究科長

ビジネス・イノベーション研究科長

法務研究科長

杉島由美子
羅 一慶

近藤 健児
向日 恒喜
井口 弘和
高橋 繁浩

福井 佳夫

足立 公也

尾入 正哲

斉藤 尚文

榎山 幸夫

佐道 明広

銭 佑錫

長谷川純一

渡邊 丈真

中村 雅章

横尾日出雄

《研究機関・各種センター等》

社会科学研究所長

文化科学研究所長

企業研究所長

体育研究所長

経済研究所長

人工知能高等研究所長

法曹養成研究所長

図書館長

国際センター長

情報センター長

エクスチェンションセンター長

保健センター長

臨床心理相談室長

学生相談センター長

榎山 幸夫

明木 茂夫

由里 宗之

桜井 伸二

釜田 公良

興水 大和

皆川 治廣

佐藤 隆

白井 正敏

目加田慶人

梶 正行

清水 卓也

馬場 史津

神谷 栄治



経済学研究科長
佐道 明広

経済学研究科は経済学と総合政策学の2つの専攻で構成されており、両者が特色ある研究・教育を行っている。

現在社会科学系大学院を取り巻く環境は厳しく、大学院も変革を求められている。資格取得や社会人教育、高度な職業教育など、多様な専門分野の研究者を要する本研究科の特性を生かした研究・教育活動を推進したい。

東京都立大学(現首都大学東京)大学院社会科学部研究科博士後期課程。博士(政治学)。日本政治外交史。56歳。



経営学研究科長
銭 佑錫

本研究科の構成メンバーをみると、実に国際色豊かである。英国人、韓国人を含む教員構成だけでなく、学生においても、日本人学生はむしろ少数で、大多数を中国人学生が占めている。今後、このような特徴を生かし、メンバーの国籍の多様性に富む本研究科だからこそできる研究・教育の方向性を模索していきたい。

東京大学大学院経済学研究科博士後期課程。経済学修士。国際経営論。49歳。



ビジネス・イノベーション研究科長
中村 雅章

本研究科は2003年の開設以来、即戦力となるビジネスリーダーの育成に努めてきた。幸い修了生も150人を越え、多方面で活躍している。今後とも、現役生、修了生のネットワークを生かし、社会人の学び直しのニーズに的確に答えていきたい。研究科設立の原点に立ち返り、学生が主役の教育・研究環境を整えていきたい。

名古屋工業大学大学院工学研究科博士後期課程。博士(工学)。ビジネス戦略。56歳。



体育研究所長
桜井 伸二

体育研究所の理念は、幅広い分野の総合的な視野を持ちつつ体育学・スポーツ科学研究の発展に資すること、および研究の成果を広く還元し社会に貢献することである。これまでの諸事業を拡大・充実させていくとともに、研究活動対象の重点化をはかり、また地域社会との結びつきをより強めるなどして、この理念の実現を目指す。

東京大学大学院教育学研究科博士後期課程。博士(教育学)。スポーツバイオメカニクス。59歳。



法曹養成研究所長
皆川 治廣

当研究所の主な業務は、研究者、実務家及び学生(法科大学院在学学生・修了生)が参加する法務研修セミナーの開催(年4回)、研究成果を社会、学生に還元するための中京ロイヤーの発刊(年2回)である。昨今は、司法試験の難しさが指摘されているが、学生の合格率アップと将来のよりよき法曹の養成を目指し、一層努力していく。

慶應義塾大学大学院法学研究科博士後期課程。博士(法学)。法律分野。59歳。



臨床心理相談室長
馬場 史津

臨床心理相談室は、本学心理学研究科における臨床心理士養成のための教育・研修施設である。教員や専門相談員が大学院生をサポートしながら、発達の問題や不登校、人間関係や性格の悩みなど、さまざまな心の悩みの相談を受け付けている。心の問題を身近に相談できる場所として地域に発信していきたい。

文教大学大学院人間科学研究科博士後期課程。博士(心理学)。臨床心理学。49歳。

講師/中村 将人/会計学
経営学部経営学科
教授/渡辺 丈洋/プロジェクト研究A
工学部メディア工学科
助教/井藤 雄一/メディア技術I
スポーツ科学部スポーツ健康科学科
教授/光山 浩人/スポーツ医学

退職教員
学部・学科/職位/氏名/専攻分野
文学部日本文学科
教授/森下 純昭/中古文学
国際教養学部国際教養学科
教授/浅野 豊美/東アジア国際関係史

准教授/板倉 厳一郎/イギリス文学
助教/アルファロ ペレス フランシスコ
オスワルド/国際協力学
心理学部心理学科
教授/河原 純一郎/認知心理学
助教/近藤 孝司/臨床心理学
法学部法律学科
教授/石川 一三夫/法史学
教授/平川 宗信/刑法
総合政策学部総合政策学科
教授/奥野 信宏/公共経済学
経営学部経営学科
教授/伊藤 清道/イノベーション・マネジメント
准教授/潮 清孝/管理会計
工学部メディア工学科

助手/井藤 雄一/映像音響表現
情報理工学部情報システム工学科
教授/秦野 甯世/計算科学
情報理工学部情報メディア工学科
教授/興膳 生二郎/工業デザイン
スポーツ科学部スポーツ教育学科
教授/林 邦夫/剣道
スポーツ科学部競技スポーツ科学科
准教授/室伏 広治/陸上競技
スポーツ科学部スポーツ健康科学科
教授/中川 武夫/スポーツ医学
法務研究科
専門教授/山田 幸彦/弁護士務系
専門教授/白井 玲子/検察実務系

副学長に種田行男・工学部教授



4月から第8代学長に安村仁志国際教養学部教授が就任し、新たな副学長には種田行男工学部教授が就いた。種田副学長は「開学60周年の節目を越え、新生・中京大学の新たな歩みが始まる。梅村清英理事長、安村学長はじめ教職員の皆さんと想いを一つにして、発展のベクトルを描きたい」と話す。

「中京大学は建物・設備や研究資金面に加え、職員配置の人材面でも充実している。これが教員の教育・研究活動を促進し、学生のレベル向上との好循環を生んだ」と、これまでの発展を分析。

新たな発展へ、ベクトルを一つに

NEXT10が掲げる教育、研究、社会連携、国際化、および卒業生連携の5つの骨子については、「それらにしなやかに挑み続け、絶えず進捗度を科学的に評価することにより新たな発展を確実なものとしていきたい。そして中部を代表する私学としての地歩を固めていくための教職連携のベクトルを、理事会や教学の皆さんとともに、学内に醸成していく一翼を担いたい」と抱負を語った。

1984年に中京大学大学院体育学研究科修士課程を修了。(財)明治生命厚生事業団体力医学研究所研究員・主任研究員を経て、2004年から中京大学生命システム工学部教授。現在は、工学部教授。修士(体育学、中京大学)、博士(医学、名古屋大学)。健康支援工学専攻。

新学部長の抱負



法学部長
杉島 由美子

法学部は、「法を社会で活かせる人材の育成」を目標として、教育内容の充実を進めている。たとえば、実務家と連携して展開する法実践プログラム(LPP)の開講、学生の目的意識を喚起する各種講演会の開催、学生が主体的に運営するゼミ対抗プレゼン大会の実施などである。今後も、学生の教育環境の充実に取り組みたい。

名古屋大学大学院法学研究科博士後期課程。法学修士。民法・消費者法。54歳。



総合政策学部長
羅 一慶

自己革新！これは、学部長として最も重視する方針である。この言葉には、時代を先導していく学部にした、そのためには、絶え間なく自己革新することが学部全体に求められているという信念が含まれている。自らの存在意義を常に発信できる学部体制を整え、その成果を学部の構成員全体が体感し合うことができるよう頑張りたい。

慶應義塾大学大学院法学研究科博士後期課程。博士(法学)。NPO/NGO、ソーシャルビジネス、市民社会論。47歳。



経済学部長
近藤 健児

実学や就職支援、資格取得に世の大学教育が傾斜しているが、一方で基礎・基本から応用へと系統的に経済学を習得できる、学生にとって今が唯一の機会でもある。生涯役立つ知識や論理的思考は、こうした地道な勉強で初めて身につく。全国屈指の研究力を持つスタッフから学べる幸せを、全学生に感じてもらえるよう努めたい。

名古屋市立大学大学院経済学研究科博士後期課程。博士(経済学)。国際経済学。53歳。



経営学部長
向日 恒喜

経営の4要素は「人、物、金、情報」と言われ、これらの要素のバランスが重要であることから、経営には多様な視点が不可欠である。本学部には多様な教員が在職しているが、それらの教員が提供する教育を通して、学生が多様な視点を身につけられるよう、支援を心がけたい。

大阪工業大学大学院工学研究科博士後期課程。博士(工学)。経営情報。47歳。



スポーツ科学部長
高橋 繁浩

東京オリンピック・パラリンピック決定を受け、スポーツへの関心は益々高まっている。スポーツ科学部は、スポーツを柱とする研究・教育を通して、現代社会におけるスポーツ固有のニーズに応えうる知識と実践力を身につけることを目的とする。そして、グローバルな視点で幅広く貢献できる人材の育成に努めていきたい。

中京大学大学院体育学研究科修士課程。博士(体育学)。水泳実技、トレーニング論。53歳。

新任教員 (4月1日付)

学部・学科 / 職位 / 氏名 / 主な担当科目

文学部日本文学科

講師/勝亦 志織/日本文学史I

国際教養学部国際教養学科

准教授/アルファロ ペレス フランシスコ

オスワルド/スペイン語IA

准教授/米岡 大輔/西洋史A

准教授/手塚 崇聡/法学

法学部法律学科

准教授/矢切 努/法史学A

准教授/小嶋 崇弘/知的財産法

総合政策学部総合政策学科

准教授/今井 良幸/憲法

豊田市市政功労章

小川英次名誉理事長 地方自治発展に尽力

小川英次名誉理事長は、中小企業問題に詳しい学識経験者として豊田市の地方自治発展に尽力した功績により、市政功労者に選ばれた。

3月7日の豊田市政64周年記念式典で授与式が行われ、太

田稔彦市長から表彰状が手渡された。太田市長は「豊田市の魅力は何かと考えたとき、色々な物があるが、それらを担っているのは結局、人なのです。人が豊田市の魅力そのもの。今後も皆様のお力添えを」と挨拶した。

「寄与できた以上に勉強させていただいた」

小川名誉理事長は「諮問会議で市長と意見を戦わせることができ、本当に楽しかった。自分の寄与できることをフルに生か

し、それ以上にたくさん勉強させていただいた。今日、賞をいただきましたが、むしろ私のほうから御礼を申し上げなければならぬと思うている」と感謝の気持ちを述べた。

小川名誉理事長は、

産業振興と産業支援に関する審議を行う豊田市産業振興委員会会長(02年から6年間)、市政の重要事項に関する審議を行う豊田市政顧問会議会長(05年から8年間)として、それぞれ長年にわたり、豊田市の発



小川名誉理事長(右)と太田豊田市長

教育・就職・学生生活など説明

全国27都市で「教育懇談会」

保護者に向けて本学の教育や学生生活について理解を深めてもらう「教育懇談会」が6、7月に開催される。中京大学教育後援会が主催。カリキュラムや成績、留学、キャリアアップ、就職、奨学金、クラブ活動について本学教職員が全体説明を行い、個別相談にも応じる。

本学キャンパス(名古屋、豊田)に加え、全国25都市で実施する。案内状は5月上旬に送付予定。

問い合わせは校友会本部(052-835-7140)へ。



昨年の学部別懇談会で説明を行う教員

※本学会場の対象学部

6月6日(名古屋キャンパス)

文学部・国際英語学部・法学部・経済学部

6月6日(豊田キャンパス)

現代社会学部・工学部(情報工学科、メディア工学科)・スポーツ科学部

6月7日(名古屋キャンパス)

国際教養学部・心理学部・経営学部・総合政策学部・工学部(機械システム工学科、電気電子工学科)

教育後援会の開催日程

開催都市	開催日	会場
愛知県 名古屋市	6月6日 土	本学名古屋キャンパス*
愛知県 豊田市	6月6日 土	本学豊田キャンパス*
愛知県 名古屋市	6月7日 日	本学名古屋キャンパス*
新潟県 新潟市	6月13日 土	ANAクラウンプラザホテル新潟
福岡県 福岡市	6月13日 土	ソラリア西鉄ホテル
北海道 札幌市	6月13日 土	札幌グランドホテル
富山県 富山市	6月14日 日	ホテルグランテラス富山
熊本県 熊本市	6月14日 日	ホテルニューオータニ熊本
岐阜県 岐阜市	6月20日 土	岐阜都ホテル
広島県 広島市	6月20日 土	ホテルグランヴィア広島
岐阜県 高山市	6月21日 日	高山グリーンホテル
岡山県 岡山市	6月21日 日	ホテルグランヴィア岡山
三重県 四日市市	6月27日 土	四日市都ホテル
東京都 新宿区	6月27日 土	京王プラザホテル
秋田県 秋田市	6月27日 土	秋田ビューホテル
三重県 松阪市	6月28日 日	フレックスホテル
群馬県 高崎市	6月28日 日	高崎ワシントンホテル
青森県 青森市	6月28日 日	ホテル青森
愛知県 豊橋市	7月4日 土	ロワジュールホテル豊橋
岩手県 盛岡市	7月4日 土	ホテルニューカリーナ
静岡県 浜松市	7月5日 日	グランドホテル浜松
宮城県 仙台市	7月5日 日	仙台国際ホテル
徳島県 徳島市	7月11日 土	ホテルクレメント徳島
静岡県 静岡市	7月12日 日	ホテルセンチュリー静岡
香川県 高松市	7月12日 日	リーガホテルゼスト高松
大阪府 大阪市	7月18日 土	ホテルグランヴィア大阪
宮崎県 宮崎市	7月18日 土	宮崎観光ホテル
滋賀県 大津市	7月19日 日	大津プリンスホテル

展に尽力した。
同日、豊田市表彰条例に基づく教育・体育・文化功績者の表彰も行われ、本学スポーツ科学部の学生12人も紹介された。敬称略。

陸上競技部 中田恵莉子、田村朋也(4年)、鈴木康太、丹羽愛利彩(1年)、フェンシング 浦野夏菜(4年)、味岡祐奈(3年)、難波柚、藤山はな、朝居由起、濱野万葉(2年)、中臺志穂(1年) 新体操 白井優華(2年)

中京大学同窓会は、同窓生の一層の活躍を後押しするために、交流の場「名刺交換会」を1月24日、開催した。同窓生と同窓会役員、本学および本学園関係

名刺交換会に520人 同窓生の活躍を後押し



名刺を交換し、交流を深める同窓生

もある」と挨拶した。参加した吉原正晶さん(92年卒)は「東京6大学は結束力が強く、情報交換も盛ん。中京大生同士も交流を深め、関東に負

者合わせて520人が参加した。名刺交換会は今年で11回目。森谷敏夫同窓会長(73年卒)は「この機会を有意に使用して親交を深めてください。卒業生が一丸となり、次世代をサポートしていく決起集会で

けないくらいチャネルを増やしていきたい」と期待を込めた。5回目の参加という権田美穂子さん(99年卒)は「視野を広げるために出席している。卒業して時間が経過し、改めて中京大の良さがわかった」と、浅井健太郎さん(04年卒)は「フェイスブックでやりとりしてきた丹下さんと初めて顔合わせした。中京大卒という共通点が、つながりを広げていく」と、交流の機会に感謝していた。

名刺交換会に先立ち、本学経済研究所の内田俊宏研究員の講演会「今年の日本経済および中部経済」と、ボクシングの東洋太平洋ミニマム級王座を奪取した田中恒成選手(経済学部1年)の特別表彰が行われ、会場を盛り上げた。北川薫学長、梅村清英理事長、安村仁志副学長は挨拶で、今後の抱負を述べるとともに、同窓生の皆さんの一層の協力をお願いした。



昨年の全国同窓会

新理事(総務担当)に 北本法人事務局長・ 大学事務局長



梅村学園理事会は、3月25日の定例理事会で、北本暢(きもと・とおる)法人事務局長・大学事務局長を理事(総務担当)に選任した。

北本新理事は1982年中京大学体育学部卒業。一橋出版、大阪ビジネスカレッジ専門学校、京都学園大学、立命館大学を経て2013年から中京大学事務局長・梅村学園評議員。2014年学校法人梅村学園法人事務局長。任期は4月1日から2017年9月30日までの2年半。中京大学事務局長・梅村学園評議員・学校法人梅村学園法人事務局長については引き続き兼務する。

同窓生に向けイベント

全国7都市で「支部同窓会」

会員数12万人を誇る中京大学同窓会は、会員同士の交流や親睦を図るとともに、母校の一層の発展に貢献することを目的に、定期的に各事業を展開している。

全国を6ブロックに分けて全国7都市で行う「支部同窓会」、学部と地域を超えて国体開催地で行う「全国同窓会」が、9-12月に開催される。校友会本部と同窓会組織の各支部が協力して実施。案内状は、各支部(県)在住の同窓生(全国同窓会は全同窓生)に向けて約1カ月前に送付される。

中京大学祭に合わせて、名古屋・豊田の両キャンパスで思い出の場所や施設を見学し、楽しんでもらう「ホームカミングデー」は10月31日に、中部地区の卒業生を中心にビジネス関連の交流を図る「新春賀詞交歓会(名刺交換会)」が1月23日に開かれる。

多くの同窓生の皆さんをお待ちしています。問い合わせは校友会本部(052-835-7140)へ。

同窓会・その他の開催予定

支部/イベント	開催地	開催日時	会場
佐賀県	佐賀市	9月 12日 土 18:00	ホテルニューオータニ佐賀
神奈川県	横浜市	10月17日 土 18:00	新横浜プリンスホテル
青森県	青森市	10月24日 土 18:00	ホテルクラウンパレス青森
広島県	広島市	11月 7日 土 18:00	ホテルグランヴィア広島
静岡県	静岡市	11月21日 土 18:00	静岡グランドホテル中島屋
京都府	京都市	11月28日 土 18:00	リーガロイヤルホテル京都
福井県	福井市	12月 5日 土 18:00	ホテルフジタ福井
全国同窓会(和歌山県)	和歌山市	9月 26日 土 19:00	ホテルグランヴィア和歌山
ホームカミングデー	名古屋市 豊田市	10月31日 土 10:30	名古屋キャンパス 豊田キャンパス
新春賀詞交歓会	名古屋市	1月 23日 土 17:30	名古屋観光ホテル



編集記

1970年に刊行され、発行部数10万部を超える本誌「中京大学広報」。在学生の保護者や同窓生、企業、高等学校などに送られている。13年前に広報部に配属された私は、制作に携わること52回目となった◆大学の主役は学生。取り組みや活躍を広く発信することは、広報部の重要な役割だ。しかし、学生に原稿を依頼すると「文章を書くのが苦手なので、上手く書けない」と尻込みする学生も多い◆小学生の頃より、文章を書くのが大嫌いだった。日記や感想文はいつも、母が大半を消しゴムで消し、書き直しを迫る。何をどのように書けばいいのか途方に暮れた。苦手意識を持ったままの広報部配属だった◆学生たちが抵抗感を持つ気持ちはよくわかる。だから「文章は上手い下手ということよりも、ハートで書くことが大切」と言葉をかけてきた。自分自身に言い聞かせるように◆私は今春、広報部を卒業する。13年間、拙い文章にも関わらず、愛読していただいた皆様に感謝（は）

いてー

●論文博士/博士(体育学)

周 培勇さん

本学大学院体育学研究科博士課程単位修得満期退学▽サッカーゴールキーパーのパナルティキックに対する認知の方略

●論文博士/博士(体育学)

濱口 雅行さん

大阪府立大学地域連携研究機構生涯教育センター健康・スポーツ学教室教授▽本学大学院体育学研究科修士課程修了▽剣道における残心の特徴に関する研究

●論文博士/博士(体育学)

黄 漢年さん

銘伝大学(台湾)体育センター専任准教授▽本学大学院体育学研究科博士課程単位修得満期退学▽身体の平衡性のトレーニングに関する研究



協定書を手にする北川学長(左)と大村知事

北川薫学長は「東京オリンピック・パラリンピックに向け、学生を中心としたボランティアでも協力できる。また、指導者

派遣は本学の教職員のほか、OBを中心とした組織をつくり、コーチ派遣などができないかを

検討している」と本学のステークホルダーを巻き込んだ協力体制を示した。

連携協力は2015年5月にスタート。「就業体験型」「企画体験型」「営業体験型」の3つのインターンシッププログラムを実践していく。

本学、至学館大学、東海学園大学の3大学と愛知県は、スポーツと健康づくりの分野で連携し、教育資源を相互に有効利用するために、「体育・スポーツ

大村秀章知事は「大学が持つ人材、施設、研究成果、ノウハウなどの資源を最大限に活用して、スポーツを推進していきたい。競技力の強化、次世代を担うジュニア層の選手育成、各大学の優秀な指導者やトップアスリートによる講習会などご協力を」と協定の主旨を述べた。

東京五輪に向け資源の有効活用

に、愛知県民のスポーツに関する関心を高め、選手育成の強化を進めていく。協定期間は1年間で、満了後、自動更新。

愛知県と包括協定締結

スポーツ振興と健康づくり

振興に関する包括協定」を3月31日に締結した。2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を視野

名古屋銀行と連携協定

インターンシップ通し 人材育成

就業・企画・営業の体験型プログラム



本学含む6大学の学長と名古屋銀行頭取が出席した調印式

地域社会の発展と相互の人材育成を目的に、本学を含む愛知県内の6大学(愛知、愛知淑徳、

名古屋学院、南山、名城)と名古屋銀行が2月23日、「連携・協力に関する基本協定」を締結。

と意気込みを語った。

学生のキャリア支援につながる取り組み、地域社会に貢献する取り組みとして、連携・協力していくことを誓った。

北川薫学長は挨拶で「名古屋銀行とは、ビジネス・イノベーション研究科と産学連携推進協定を結んでいる。大学院生と中小企業診断士の資格を持つ本学教員が企業課題の解決につとめてきた。今回は学部との連携。地元をベースにしながら世界に飛び出す人材育成につながることを期待している」と述べた。

中村昌弘頭取は「社は『地域社会の繁栄に奉仕する』を実践し、6大学とタッグを組み、様々なプログラムに取り組んでいく」と意気込みを語った。

2015年度

入 試

志願者33,021人
22年ぶり

3万3千人超え

本学の2015年度入学試験の総志願者は対前年103.5%の33,021人となり、22年ぶりに総志願者3万3千人超えとなった。

試験区別の志願者は、AO入試122人、推薦入試2,669人、前期日程入試27,245人、後期日程入試2,554人、学園内推薦361人、特別入試70人。

試験区分	2015年度	2014年度
AO入試	122	138
推薦入試	2,669	2,605
前期日程入試※	27,245	25,903
後期日程入試※	2,554	2,897
学園内推薦入試	361	313
特別入試	70	51

※センター試験利用方式を含む

2015年度 全入試方式(学部学科別) 志願・合格者数(人)

学部	学科	定員		志願者数		合格者数	
		2015年度	2014年度	2015年度	2014年度	2015年度	2014年度
文	日本文	65	65	785	749	328	303
	言語表現	65	65	618	635	225	256
	歴史文化	65	65	923	1,063	316	287
国際英語	国際英語キャリア専攻	57	57	832	1,097	328	294
	英語圏文化専攻	57	57	632	848	250	299
	国際学専攻	57	57	736	713	250	297
国際教養	国際教養	103	103	1,392	1,129	464	639
心理	心理	165	165	1,827	1,918	622	629
現代社会	社会学専攻	85		1,314		443	
	コミュニティ学専攻	85	257	744	2,411	369	1,277
	社会福祉学専攻	44		375		163	
	国際文化専攻	43		477		216	
法	法律	309	309	2,706	2,214	1,252	1,211
総合政策	総合政策	207	207	2,376	2,673	919	929
経済	経済	309	309	3,068	2,796	1,338	1,269
経営	経営	309	309	3,203	2,851	1,124	1,104
工	機械システム工	80	80	1,608	1,544	367	409
	電気電子工	80	80	1,519	1,170	400	393
	情報工	80	80	1,475	1,282	343	374
	メディア工	60	60	927	809	263	259
スポーツ科	スポーツ教育	130	130	1,896	2,232	336	327
	競技スポーツ科	255	255	1,765	1,783	448	491
	スポーツ健康科	80	80	1,823	1,990	215	209
合計		2,790	2,790	33,021	31,907	10,979	11,256

2月以降に行われたスタンダード入試となる前期日程入試(A方式、M方式、得意科目重視型センタープラス方式、センター試験利用方式3科目型・4科目型・5科目型)の志願者27,245人。

全試験における募集定員に対する倍率は11.84倍(全試験平均)。

今春改編した現代社会学部全体の志願者数は2,910人。改編前の現代社会学部と比較すると499人増加した。学部別志願者数は工学部5,529人、スポーツ科学部5,484人、経営学部3,203人の順。

試験会場は本学(名古屋、豊田両キャンパス)のほか、全国16都道府県17都市(札幌・東京・富山・金沢・福井・松本・静岡・浜松・豊橋・岐阜・四日市・大阪・岡山・広島・松山・福岡・那覇)で実施された。

博士学位

10人に博士学位授与

本学は9月20日に1人、3月19日の卒業式(学位記・卒業証書授与式)に9人の計10人に博士学位(課程博士7人、論文博士3人)を授与した。

※経歴欄は順に現職(課程博士授与者のうち、本学大学院研究科2014年度在籍は省略)、最終学歴、学位論文タイトル。

●課程博士/博士(経営学)

陳 剛さん

浙江越秀外国语学院(中国)常勤講師▽本学大学院経営学研究科博士課程修了▽日本の小売システムの国際移転と競争優位—イターヨーカドー、イオン、ローソ

ンの中国事業を中心に—

●課程博士/博士(経営学)

張 永強さん

本学大学院経営学研究科博士課程修了▽中国進出日系企業の賃金管理—日中における賃金決定の仕組みからの一考察—

●課程博士/博士(情報科学)

望月 優介さん

株式会社とめ研究所勤務▽本学大学院情報科学研究科情報認知科学専攻博士課程修了▽単眼単視点による三次元画像計測に関する研究

●課程博士/博士(メディア科学)

徳田 尚也さん

本学大学院情報科学研究科メディア科学専攻博士課程修了▽似顔絵自動生成のための画像処理基盤研究

●課程博士/博士(メディア科学)

長坂 洋輔さん

本学大学院情報科学研究科メディア科学専攻博士課程修了▽高品位な画像誇張のためのモーフィング法とその応用研究

●課程博士/博士(体育学)

盧 金達さん

本学大学院体育学研究科博士課程修了▽Associations of physical characteristics with socioeconomic status and lifestyles among migrant peasant workers' children in China

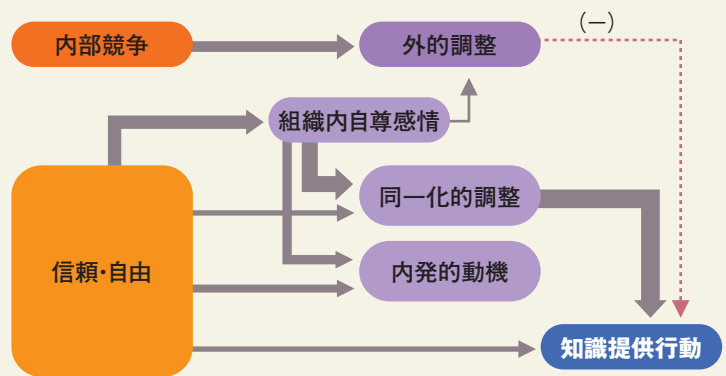
●課程博士/博士(体育学)

山下 直之さん

本学大学院体育学研究科博士課程修了▽体重階級制競技選手のウエイトコントロール—アマチュアボクシング選手につ

「10年後の本研究所員にとって、続きの研究を進める刺激にするために」と、由里宗之研究所長(総合政策学部教授)が力を入れるのは、成果の蓄積と記録だ。本などの資料や論文をまとめたプロジェクト毎のアーカイブボックス作成や、所報への研究成果物の掲載に取り組んでいる。成果の見える化、互いの研究の見える化による情報利用を促し、研究活性化を図っている。

知識提供の促進の因果関係図



知識ネットワーク

信頼や自由な社風作り 知識の共有を促進

“日本一社員が幸せな会社”として有名になった未来工業は、規格が決まっている電気設備工事用の資材が主力商品だ。アイデア次第で顧客を感動させることが差別化となるため、発想を生み出す土壌づくりとして社員を感動させることを重要視している。同社に限らず、企業にとって知識やアイデア、経験などは重要な資源であり、組織内で共有していくことが求められる。

従業員間の競争を促すよりも、組織に良い雰囲気を作り自尊感情を持ってもらうことが、知識やアイデアの共有に良い影響を与えているのでは。向日恒喜研究員(経営学部教授)は、ホワイトカラー職の中で、専門技術

者やマネジメント職といった知識労働者500人にネット調査。知識を職場の人に提供する動機として、興味・関心による「内発的動機」、報酬・評価による「外的調整」、知識を共有する意義の理解による「同一化的調整」のどれが知識の提供を促進するか、統計的手法である共分散構造分析を用いて検証した。

分析の結果、信頼関係や自由な雰囲気によって個人の自尊感情を高めることで、意義を理解した知識提供行動が促進することがわかった。逆に、内部競争を行うことで報酬に目が奪われ、提供行動が抑制される。向日教授は「自尊感情は組織の中で重要な役割を担っている。仕事や育児、勉強などにおいても、周囲からの評価や評判を気にすると親も子も燃え尽きやすい。ネガティブな面も理解しながら成果主義を使っていくことが大事」と指摘している。

その他の研究プロジェクトと 中間報告(2014年度)



消費税引き上げ後の中小企業をテーマにしたシンポジウム

研究所 DATA

- 開設 1977年
- 研究員数 49人
- ※内訳:所員34人、研究員15人
- 定期刊行物
- 所報「中京企業研究」、叢書
- 学術講演会
- 「中小企業運動と中小企業政策」(2014年度)

経済協力の展開と日本産業界

米国国立公文書館、外務省外交史料館で資料の収集や模写を行った。名古屋大学のグループとも協力しながら、経済協力の歴史的な起源を中心に検討を行っている。

日本企業の新興国戦略

近年中国の民族系部品メーカーの能力と事業内容は大きく変貌を遂げつつあり、中国における部品調達現地化の可能性が現実的になりつつあることを示唆している。

ソーシャルビジネスにおけるクラウドファンディング 一般社団法人MAKOTOの事例から

ソーシャルビジネスという枠組みから見た、新しい資金調達の可能性として、インターネットを活用して不特定多数から資金調達するクラウドファンディングについてヒアリング調査を行った。

地域経済と文化資本

公立大学を地域の文化資本という視点から取り上げ、地元密着の都市問題に取り組む学部を持つ福山市立大学、美術学部と附属美術館を持つ尾道市立大学を訪れて調査を行った。

経営意思決定研究

ネット通販のビジネス戦略と消費者購買行動についてネット調査結果の集計と考察を行っている。ネット専門ショップと実店舗チャネルを持つ企業との競争戦略について考察を深めていく。

市場における再帰性の研究

スコット・ラッシュの考え方に基づいて、新しい市場再帰性を見出した。現在「社会の再帰性と商品開発」について執筆中。実証研究では、国内外でインタビューを行っている。

世界恐慌～戦中期の日米コミュニティ・バンク諸業態の構造的変化に関する比較研究

米国独立銀行家協会所蔵の資料閲覧すべく交渉をしている。コミュニティ銀行を取り巻く規制環境の潮流が、2008～2009年の金融経済危機を境に変化しつつあることに関する論考を準備中。

7つの研究力

企業研究所

企業の問題解決へ 見える化で研究活性

組織内での知的財産の共有や資金調達、新興国戦略など、企業の抱える課題の解決策を探る企業研究所。



トヨタ自動車研究

真のグローバル化 労働者目線で追究

トヨタ自動車は、中部地区が誇る現代のリーディングカンパニーだ。同社の生産方式にまつわる研究は数多いが、企業研究所では、研究プロジェクト「トヨタ自動車研究」において、同社の膝元である地の利を生かしながら、労働者の目線から労働環境や就労条件、人事管理、労使関係などについて研究を進めている。

残業で日付が変わるまで働いている、雇用条件によって同じ時間働いても同じ賃金ではない、専業主婦のいる家庭比率が高い——。同プロジェクトでは、正社員だけでなく、期間従業員などの非正規雇用者や下請け会社で働く従業員へのヒアリングを行っている。豊田市が発表している統計調査などからも情報を収集する。

また、欧米を訪れて輸送用機器メーカーの労働環境なども調査し、真のグローバル化とは何かを追究している。労働組合に注目すると、日本の大手企業では企業別に構成されるが、欧米では産業別労働組合の割合が高い。

同プロジェクトを立ち上げた猿田正機名誉所員（本学名誉教授）は、「スウェーデン企業の従業員は、残業がほとんどない。女性の自立も促され、キャリアアップのために学校に入り直した後、同じ職場に復帰できる。企業は人間あつてのもの。各国比較を行い、日本の企業が“どうして”、“どう違うのか”を社会に明らかにして、将来の日本企業の指針を探っていきたい」と力強く話す。



研究者の育成のため学生や院生も報告会に参加

北欧・スウェーデンとの比較は、猿田名誉所員によるオープンカレッジ講座「『企業社会・日本』と『福祉社会・スウェーデン』との比較」でも活用されている。授業の合間を

利用して講義を聞く学生や、若い女性の受講者も増えてきた。また、各国から注目を浴びるトヨタ自動車の経営や生産方式を参考にすべく、アメリカやドイツ、韓国などの企業が日本を訪れている。労使で議論するために意見を聞きたいと、こうした企業からも企業研究所に研究成果の照会を求められ、国際交流も深まっている。



トヨタ自動車や豊田市政に関する資料が揃う



市民や学生へ企業の課題検討

中小企業の実態知る 消費増税テーマにシンポ

企業研究所は市民や学生に向けて例年公開講座を開催し、企業の経営に関する課題や経済の動向について理解を深めている。今年は、消費税率引上げ後の中小企業現場の実態に関し複眼的な視点から議論を行うため10月23日、名古屋キャンパスのヤマテホールで「中小企業運動と中小企業政策」をテーマにシンポジウムを開いた。石渡裕・中小企業家同友会全国協議会政策委員長は「消費税率8%実施後の景況V字回復は起こっておらず、L字型の低迷が懸念される。中小企業の活性化には、2010年に閣議決定された中小企業憲章の具体化が不可欠」と訴えた。参加者らは、中小企業経営の現場から見た地域金融の実態などについて、活発に議論を交わした。

「豊かで安心安全な社会」学生たちが提案、発表

愛知県選挙管理委員会等に提案 愛知県知事選(2/1)で一部採用

SNSを使用した 若年層に対する選挙啓発

「大学生による選挙啓発に関する政策提案報告会で発表した内容が、2月1日に行われた愛知県知事選で一部採用された。SNSにキャラクターが登場、ホワイトボードにメッセージを書き写真撮影してSNSへ投稿など。達成感がある」
(総合政策学部市島プロジェクト研究2年
井口小夏、北原駿、富田慶、永田暉)



社会人基礎力育成グランプリ 全国大会出場(中部大会優秀賞)

地元の商店街活性化にチャレンジ

「総合政策学部の実践科目「社会人基礎力講座ビジネス編」(担当:宮川正裕教授)の選抜チーム(3年生)が、中部地区代表として全国大会で発表。地元企業との産学連携プロジェクトを通して社会人基礎力を向上させた取組みが、全国レベルで高く評価された」
(総合政策学部3年 浅沼夏奈)

人間共生システムデザインコンテスト インパクト賞

オノマトペを用いた 書写技能伝達ロボット

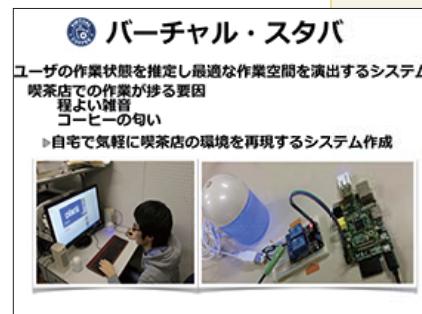
「人とロボットが共存する上で感覚的な情報の共有は避けられない問題と考え、書写学習を支援するロボットを開発した。筆遣いという感覚的な書写技能をオノマトペで人に伝えることで学習を促進できると考えている」
(情報理工学部機械情報工学科加納研究室4年 遠藤和也)

情報処理学会 全国大会 学生奨励賞

個々のユーザの集中度に応じた 室内環境を演出するシステム

「作業時のユーザの集中度を推定し、集中・思考・注意散漫・眠気の4種類の状態に分類した後、作業状態に応じてアロマ噴霧や環境音再生を行うことで、気軽に自宅で喫茶店の環境を再現するヴァーチャル・スタバを開発した」

(情報理工学部情報システム工学科濱川研究室4年 三井健史)



筋電位センサーを用いた 認証方式の提案とその実装

「スマートフォンのパスワードが盗み見される危険を回避するため、入力に足趾筋電位を用い、またパスワードとしてこの足趾の動きのON/OFFを組み合わせたパスワードを新たに提案することで単純で僅かな動きでの認証が可能になった」

(情報理工学部情報システム工学科濱川研究室4年 諸戸貴志)

キャンパスベンチャーグランプリ中部 奨励賞

スマホ用コーディネートアプリ Auto Coordinator

「女子大生の朝のコーディネートの面倒くささを解消し、楽しさを提供するスマートフォン向け無料アプリを提案した。50代以上の男性審査員に女子大生のファッションの悩みを伝えるために、プレゼン方法を工夫した」
(経営学部永石ゼミ3年 前田悠花、荒木美咲、丹羽益美)



ワークショップ&コンサート

音楽作りで世界とつながろう

工学部 宮田研究室主催



「ウーマン・オブ・ザ・ワールド」とのコラボで開催されたコンサート

工学部メディア工学科の宮田研究室が中心となって運営しているワールドミュージアムの一環として、「音楽作りで世界とつながろう ワorkshop&コンサート」が3月23日、愛知県芸術文化センターで行われた。世界的に活躍しているミュージックグループ「ウーマン・オブ・

ザ・ワールド」とのコラボで開催された。

ワールドミュージアムのパートナーである世界十数カ国の学校の子どもたちと、同ミュージックグループが協力して「世界の平和」を表現する歌を制作。コンサートで歌が始まると、情報通信技術 (ICT) を使って十数カ国の子どもたちが同時に合唱し、世界とつながった一体感に会場全体が包まれた。ワークショップで制作した小型コンピュータとセンサーを使った不思議楽器も、コンサートのラストで共演した。

運営に携わった宮田研究室の学生は「文化や年齢の違う人たちと地球規模の問題を考えていく機会となった。大学で学んでいるメディア技術を、今回の企画のように社会貢献に生かしていきたい」と語った。ワールドミュージアムとは、情報通信技術を活用してグローバルな視野と志を育てる学習環境の構築。宮田義郎教授は「今回、世界各地の人達と作り上げた平和の歌のように、より多くの世界の若者が物だけでなく心でつながる活動を、今後も継続的に行なっていきたい」と語った。

スポーツを支える救急処置、トレーナー

ウィメンズマラソンで 医療ボランティア

心肺蘇生、AEDで人命救助

スポーツ健康科学科の「救急処置論」や「アスレチックトレーニングゼミ」で理論と実践を学んだ116人の学生が3月8日、名古屋ウィメンズマラソンの医療ボランティア「BLS隊」として参加した。一次救命処置の役割を担い、競技中に心肺停止状態になった人に対して早期通報、心肺蘇生、AEDを用いての人命救助を行った。

参加した学生からは「事前に救急処置の研修を行ったが、いざ現場で倒れたランナーを目の当たりにすると

動揺し、適性な順序にとまどった」など、現場で対応する難しさを痛感したという声が多く聞かれた。

八上景太さん(3年)は「いつ、どこでも急病人がでることはありうる。緊急事態に備えてイメージトレーニングをすること、救急処置を行う際は冷静であることが大切」と大学での学び、実践での経験を生かしたいと話している。

全国学生トレーナーの集いに 50大学697人

アスレチックトレーナーの役割考える

アスレチックトレーナーを目指す学生が全国から集まり、本学豊田キャンパスで「トレーナーの集い」が3月11、12日に行われた。50大学697人が、講演会やシンポジウム、ディスカッション、グループワークを通して、役割や進路先などトレーナーの仕事について考え、意見交換した。企画や運営は、本学サークル「トレーナー部会GET」のメンバー70人が担当。当日は、本学のスポーツ環境や、独自のアスリートサポートシステムCISPなどについても紹介した。参加者からは「同じ目標をもつ他大学の学生とディスカッションでき、充実した2日間だった」「アスレチックトレーナーの仕事に就いている方の話を聞き、今後の行動の指針になった」などの感想が聞かれた。



事前研修でAEDの使用法を確認する学生たち

文学部文芸創作コンクール

「読ませる」入賞作品が本に 今年で10回目

3月12日、文学部が主催する文芸創作コンクール受賞者に、入賞作品を1冊にまとめた本が手渡された。同学部の学生を対象にした短編小説のコンテストで、同学部の教員が審査する。入賞作品は書籍として本学図書館にも並ぶ。作家志望や文章力を伸ばしたい学生が作品を披露する場として、言語表現学科の設立とともに創設され、今年で10回目。過去には、舟橋聖一文学賞を受賞した河島光さん(2011年卒)を輩出している。

応募6作品の中から、鉄道カフェ「トロッコ」を舞台に、大学の鉄道サークルのメンバーや出入りする客の人間模様を綴った可知秋代さん(2年)の『縁の下のうまいもの』が入選に選ばれた。二席には渡辺悠楽さん(2年)の『生まれた十四歳』、準入選は高山裕紀子さん(4年)の『ロナルドの現実』、大脇絵里さん



書籍となった入賞作品を手にする文芸創作コンクール受賞者

(4年)の『白くて淡い』の2作品。審査委員長の酒井敏・文学部長は「ミステリー作品の応募が多く、読者を意識した応募者の成長と技巧的な進歩がうかがえた」と講評した。

入選した可知さんは「文学の専門家である先生方に読んで講評してもらえたことや本という形になったことがうれしくて、去年に引き続き応募した。前回、すっきりした読後感を評価されたので、より引き立つよう意識して書いた」と話した。

まちづくり提案が事業化へ

『災害に強いまち豊田 ～地域で育む防災力～』

総合政策学部桑原ゼミが提案

総合政策学部桑原ゼミの提案『災害に強いまち豊田～地域で育む防災力～』が事業化されることが決まり、3月11日、本学と豊田市は事業化に向けた相互連携協力の覚書を交わした。同提案は、新・豊田市の誕生10周年記念事業の一環で行われた公開プレゼンテーション大会(11月26日)で、豊田JC(青年会議



北川学長、豊田市長を囲む桑原ゼミの学生たち



所)賞を獲得している。

太田稔彦・豊田市長は「豊田市はチャレンジしやすい土壌がある。皆さんと一緒に、豊田市をもっと良いまちにしていきたいと思います」と期待を込め、北川薫学長は「現在、消防団員の確保が難しいと聞いている。学生たちと共に協力していきたい」と述べた。

『災害に強いまち豊田』は、地域に密着した消防団に光を当て、防災意識をまち全体で高めるという提案。東日本大震災のように行政が被災した場合には、住民同士の共助がカギとなるとしている。リーダーの神谷明里さん(4年)は「大学で公共政策について学んでいるので、政策提案が事業化に結び付いたことが大変うれしい。貴重な経験ができる」と喜びを語る一方、責任を持って取り組まなければと気を引き締めていた。

初の学内公募型コンテスト —旅行商品開発プロジェクト

最優秀企画は『南の国での幸せ再発見』

今夏、名鉄観光から発売

JAL(日本航空)・名鉄観光サービスとの産学連携による旅行商品開発プロジェクト「わく旅キャンペーン 名古屋—バンコク線」の最終プレゼン大会が3月10日、名鉄観光サービスの会議室で行われた。同プロジェクトは本学初の学内公募型コンテストとして実施され、応募34グループの中から一次選考を勝ち抜いた4グループが発表した。

最優秀に選ばれたのは、旅行企画『南の国での幸せ再発見～1日1家族限定プレミアチケットorサムイ島ツアー5日間～』(経営学部3年有志グループ)。今夏の発売をめざして企画内容を精査し、パンフレットやwebページの作成など、名鉄観光サービスと連携し、商品化に向けて取り組んでいく。また、『七色の旅物語～あなた色の旅を、作りませんか～』(経営学部2年中村ゼミ)が次点に選ばれ、webによる販売(今夏)が決まった。

『南の国での幸せ再発見』リーダーの小森慎司さんは「ホットなコミュニケーションを引き出し、家族の幸せを充電するツアー。顧客のニーズをできる限り叶えたいという理想と、実現性の擦り合わせが一番難しかった」と、『七色の旅物語』のリーダー住田ひとみさんは「タイの7色の文化に着目し、タイの観光資源にストーリー性を持たせた」と、ツアーの特徴や苦労した点を語った。

審査は、①テーマ性②オリジナリティー③タイト



ル・キャッチフレーズ④ターゲティング⑤旅程⑥販売促進⑦実現性⑧集客力⑨プレゼン資料⑩プレゼン時間配分の10項目で行われた。JALの山本達也統括マネジャーは「最優秀チームは、一次審査後のブラッシュアップ期間で、よくここまで練り上げてきた。何事にも真剣に取り組むと必ず結果は残せると皆さんのプレゼンを聞き改めて思った」と総評を述べた。



最優秀企画に選ばれた経営学部有志チーム

松阪市役所でインターンシップ

地道さ、首長の役割学ぶ

「人材育成と地域振興」協定に基づく

昨年4月に締ばれた本学と松阪市の「人材育成と地域振興」に係る連携・協力協定に基づき、松阪市役所で総合政策学部2年の下村慎太郎さんが2月16日から約1カ月間のインターンシップに臨んだ。

同市が行う通常のインターンシップは市役所での仕事を理解することが目的だ。下村さんは秘書室の一員として市長が出席する地域イベントに同席したり、市議会を見学。山中光茂市長の側で働くことで、首長がリーダーとしてどのようなプロセスで、市民の要望を政策に反映したり、市政の方針などを議案として市議会に提案していくかを学んだ。

下村さんは、市長が議会で答弁するための資料作成補助やイベント模様のホームページ掲載も担当。同室の小塩明俊さんは「事務作業を根気よく続けてもらった。地道な仕事の大切さを肌で感じたのでは」と話す。

下村さんは「市役所側と市議員が対立せずに助け合いながら協調していく方法について、より深く考えるようになった」と振り返った。



山中市長(左端)の来客時の対応をメモする下村さん(写真中央上)

しなやかに挑み続ける新生・中京大学

CHUKYO UNIVERSITY

2015
April



2014年度 卒業式

自信携え

翔

び立つ



2015年度 入学式

無限の可能性に

挑む